

「令和4年木材需給表」の公表 ～木材自給率は40.7%になりました～

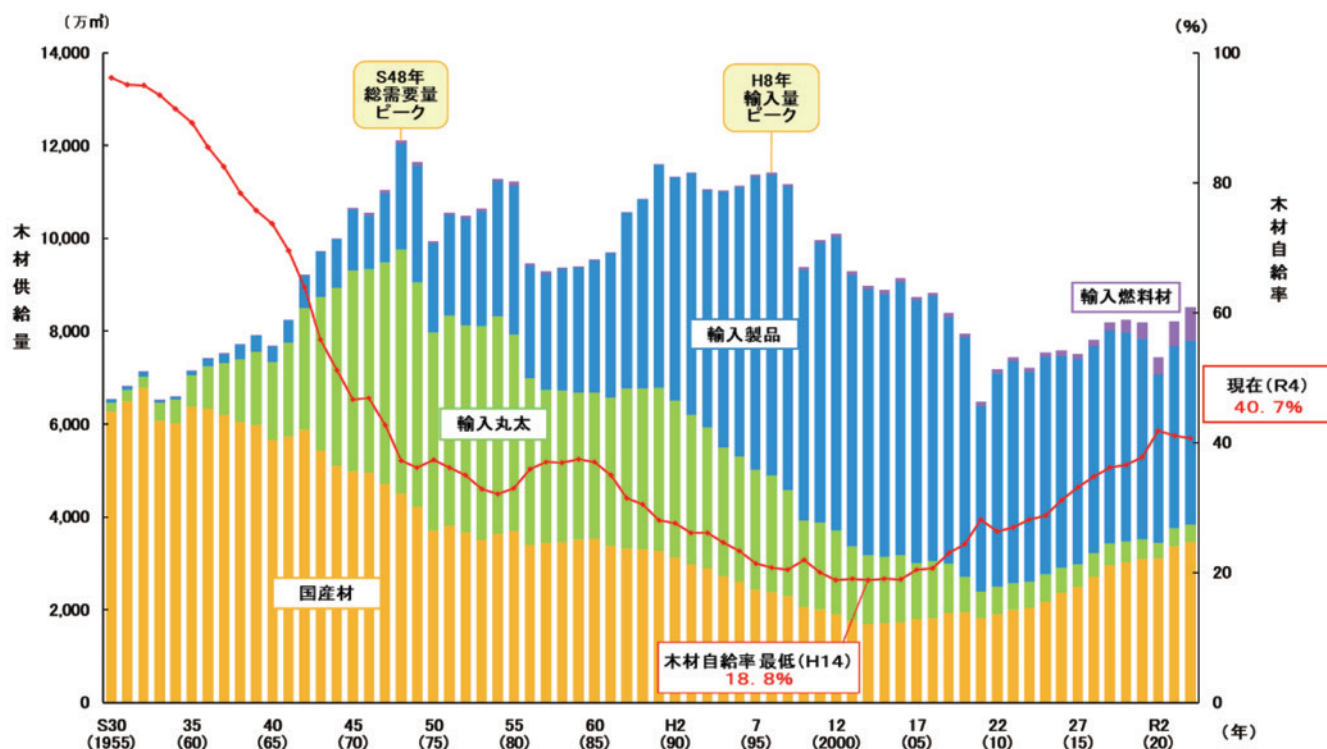


図 木材供給量及び木材自給率の推移

林野庁は、我が国の木材需給の状況を明らかにする「令和4年木材需給表」を公表しました。

1. 木材の需要

令和4年（2022年）の木材の総需要量は、8,509万4千 m^3 （丸太換算値。以下同じ。）となりました。前年と比較すると296万4千 m^3 （3.6%）の増加です。これは前年に比べ、用材が35万2千 m^3 （0.5%）増加したこと、しいたけ原木が3万7千 m^3 （15.0%）減少したこと、燃料材が264万8千 m^3 （18.0%）増加したことによります。

なお、総需要量のうち、輸出量は304万2千 m^3 となりました。前年と比較すると20万9千 m^3 （6.4%）の減少です。

2. 木材の供給

国内生産量は、3,461万7千 m^3 となりました。前年と比較すると89万6千 m^3 （2.7%）の増加です。これは前年に比べ、用材が1万7千 m^3 （0.1%）増加したこと、しいたけ原木が3万7千 m^3 （15.0%）減少したこと、燃料材が91万6千 m^3 （9.8%）増加したことによります。

一方、輸入量は、5,047万7千 m^3 となりました。前年と比較すると206万8千 m^3 （4.3%）の増加です。これは前年に比べ、用材が33万6千 m^3 （0.8%）増加したこと、燃料材が173万2千 m^3 （32.1%）増加したことによります。

（単位：万 m^3 ）

用途	供給源	国産材	輸入丸太	輸入製品	合計	比率
製材用材		1,293.7	316.8	1,015.8	2,626.3	30.9%
合板用材		491.2	44.3	446.5	982.0	11.6%
パルプ・チップ用材		456.3	0.3	2,498.0	2,954.7	34.8%
その他用材		173.2	1.4	12.0	186.5	2.2%
燃料材		1,026.4	0.0	712.6	1,739.0	20.5%
合計		3,440.8	362.8	4,684.9	8,488.4	100.0%
しいたけ原木		20.9			20.9	
総計		3,461.7	362.8	4,684.9	8,509.4	

表 令和4年 需要(供給)量

3. 木材自給率

令和4年の木材自給率は40.7%となりました。前年と比較すると0.4ポイントの低下です。用途別に見ると、建築用材等の自給率は49.5%で前年と比較すると1.5ポイントの上昇、非建築用材等の自給率は34.2%で前年と比較すると1.3ポイントの低下です。

より詳しい「木材需給表」の内容は下記のURLから御覧いただけます。

▶ https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai_zyukyu/index.html

